

心血管集中治療室(CVICU)・集中治療室(ICU)

Cardiovascular Intensive Care Unit

Intensive Care Unit



現在、日本集中治療学会が提唱する心血管集中治療室における病室の占有面積は1床当たり20cm²を推奨していますが、CVICU・ICUは26cm²を確保しており、余裕のあるスペースでより重症な患者の診療を行うことが可能です。また、単独のナースステーション、医師当直室が併設され患者急変時などにも迅速な対応がとれるような配置になって

います。CVICU・ICUは4つのベッドを有し、内1床は完全個室となっています。

当院循環器科では2010年1月から夜の緊急カテーテル治療など循環器救急診療に積極的に取り組み、同年6月には7階病棟間の緊急カテーテル治療など循環器救急診療に積極的に取り組み、同年6月には7階病棟に心血管集中治療室(CVICU)・集中治療室(ICU)を開設し、より充実した診療を行ってまいりました。以後は急性心筋梗塞の患者の受け入れも年間70例を超え、心血管カテーテル治療も年間350件を超えるようになりました。このような状況下で、さらに充実した重症患者の診療を行うために2013年3月より5階を新循環器病棟とし、その一角に新しい集中治療室を開設しました。名称を心血管集中治療室(CVICU)・集中治療室(Intensive Care Unit: ICU)とし、急性心筋梗塞や重症心不全などの循環器救急疾患の初期治療や、重い心臓病を有する患者の手術後の管理を行うための心血管集中治療室と、敗血症性ショックや呼吸促進症候群などの内科的重症疾患のための集中治療室としての役割を担っています。CVICU・ICUは4つのベッドを有し、内1床は完全個室となっています。

現在、日本集中治療学会が提唱する心血管集中治療室における病室の占有面積は1床当たり20cm²を推奨していますが、CVICU・ICUは26cm²を確保しており、余裕のあるスペースでより重症な患者の診療を行うことが可能です。また、単独のナースステーション、医師当直室が併設され患者急変時などにも迅速な対応がとれるような配置になって

います。CVICU・ICUは4つのベッドを有し、内1床は完全個室となっています。

当院循環器科では2010年1月から夜の緊急カテーテル治療など循環器救急診療に積極的に取り組み、同年6月には7階病棟間の緊急カテーテル治療など循環器救急診療に積極的に取り組み、同年6月には7階病棟に心血管集中治療室(CVICU)・集中治療室(ICU)を開設し、より充実した診療を行ってまいりました。以後は急性心筋梗塞の患者の受け入れも年間70例を超え、心血管カテーテル治療も年間350件を超えるようになりました。このような状況下で、さらに充実した重症患者の診療を行うために2013年3月より5階を新循環器病棟とし、その一角に新しい集中治療室を開設しました。名称を心血管集中治療室(CVICU)・集中治療室(Intensive Care Unit: ICU)とし、急性心筋梗塞や重症心不全などの循環器救急疾患の初期治療や、重い心臓病を有する患者の手術後の管理を行うための心血管集中治療室と、敗血症性ショックや呼吸促進症候群などの内科的重症疾患のための集中治療室としての役割を担っています。CVICU・ICUは4つのベッドを有し、内1床は完全個室となっています。

充実した集中治療室の開設と東京都CCUネットワークへの参画について

循環器内科部長 高橋 保裕

今回のCVICU・ICUの開設と循環器救急診療の実績が認められ、2013年4月より東京都CCUネットワークへの参画が決定しました。CCUネットワークとは急性心筋梗塞を中心とする急性心臓血管疾患に対し、迅速な救急搬送と専門施設への患者収容を目的に、1978年に東京都に組織された機構です。東京都内の救急車は患者が循環器疾患の疑いがある症状を訴えた場合、基本的にはCCUネットワーク加盟施設への受け入れを要請しています。CCUネットワーク構築の利点は、専門施設への患者搬送収容の迅速化、急性期の適切な治療の普及、地域救急医療システムの連携強化などの他に患者家族・医療従事者への教育活動の推進などが挙げられます。

急性心筋梗塞などの重い心血管疾患にならないこと(予防)は非常に重要ですが、当院循環器科では万が一にもそのような病気になる場合、ハード面だけではなくソフト面でも充実していくよう努めていきたいと考えております。CVICU・ICUの開設とCCUネットワークの参画により、今まで以上に当院通院中あるいは近隣の皆様へのよりよい循環器救急医療の提供が可能になると確信しております。

診療科のご紹介 泌尿器科編

泌尿器科部長 平野 美和

初夏を迎え、清々しい日が多いこの頃ですが皆様はいかがお過ごしでしょうか。今回は同愛記念病院の泌尿器科の紹介をさせていただきます。当科は常勤医として私、平野美和を筆頭に村田高史、宮崎英世、熊野信太郎、米虫良允の5名、非常勤医として河村毅、柿澤至恕、西松寛明、井上滋彦、角谷成紀、佐藤悠佑の6名の医師が診療にあたっております。

泌尿器科という苦痛を伴う膀胱鏡検査(今ではさほど苦痛を伴わない)や下半身の診療などが脳裏に浮かび、受診時にはいささか勇気が必要な診療科という印象を抱かれる方が多いと思われます。しかし、実際は通常の腹部外科や消化器内科とさほど変わりありません。泌尿器科が取り扱う臓器はホルモンを産生する副腎を含み、腎臓、尿管、膀胱、尿道といった尿路、男性生殖器と、主に腹腔の後ろにあります。取り扱う疾患もそれらの臓器から発生する悪性腫瘍(腎臓癌、膀胱癌、前立腺癌など)は勿論のこと、尿路結石や尿路感染症、前立腺肥大症や過活動膀胱といった良性疾患まで多岐にわたります。それ故、泌尿器科は元来外科から派生した科ではありますが、外科的治療だけでなく内科的治療も盛んに行われています。

私が国立国際医療研究センターから同愛記念病院に泌尿器科部長として赴任したのは平成13年4月で早くも12年経ちました。この間に世情もずいぶん変わりましたが、医療を取り巻く環境や技術も大きく変貌しました。今、外科領域におきましては時代の流れは低侵襲手術、内視鏡手術です。最たるものはロボット支援手術です。実は泌尿器科は内視鏡手術を最初に実用化した科で、1950年代前半にはすでに膀胱癌に対して経尿道的に内視鏡で切除する手術が行われていました。今でも泌尿器科領域においては猛スピードで内視鏡をはじめとして手術や検査に使用する器具が進歩しており、12年前には存在しなかった細径の軟性腎盂尿管鏡、軟性腎盂尿管ビデオスコープ、ハイビジョン化された軟性膀胱鏡や腹腔鏡、生食下TURシステムなどはすでに同愛記念病院にも導入され、診療の場で活躍しています。腎臓の手術は赴任当初は解放手術一辺倒でしたが今では強い炎症を伴うものや巨大なものをのぞ

き、腹腔鏡手術に取って代わりました。更に昨年より前立腺癌の腹腔鏡手術も当院で施行されるようになりました。

複数の地域の病院で勤務した私が受けた印象ですが、城東地区には尿路結石症で悩まれる方が多いようです。多くの方々が当科を地域の基幹病院として受診していただいたおかげで上部尿路結石の手術に関しては経験数、技術ともに全国でも指折りの施設になりました。治療困難な尿路結石の方も多くの施設から紹介されるようになりました。

同愛記念病院の基本理念の中に地域の基幹病院という言葉が有ります。私としては同愛記念病院に来院していただければ、隅田川を渡らなくても大学病院並の高いレベルの医療を受けられるようにする事と解釈しております。医学は日進月歩です。同愛記念病院の中で現況に満足していると井の中の蛙になってしまいます。皆様には担当医が時折変わってしまう御迷惑をおかけしますが、新たな医療技術、知見を日々、当科に導入していくために、今後も泌尿器科医師を東京大学医学部泌尿器科医局や関連病院との人的交流を継続させていただきます。

医師は医療技術や知識だけが高ければよいと考えてはならないと思います。医療は人と人のふれあいです。医師は病気を治療するのではなく、病気に苦しむ人を治療するのが使命です。泌尿器科スタッフ一同、この使命を決して忘れないように、今後も同愛記念病院を受診していただく皆様の診療にあたる所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます。



泌尿器科 スタッフ一同

同愛記念病院の理念 同愛記念病院は地域の要請をふまえ地区の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献します。

〈診療科目のご案内〉

循環器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、一般内科、神経科・精神科、アレルギー呼吸器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

〈病床数〉425床

当院では外来予約制です。

初診/(月～金)午前8時30分～正午(紹介状のある方は午後3時)
(土) 午前8時30分～午前11時
再診/ご予約のない方:自動再来受付機にて午前8時～正午
次のご予約は診察後にお申し込みください。
休診日/日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

交通案内

JR総武線 両国駅(西口)から徒歩7分
都営地下鉄浅草線 蔵前駅から徒歩10分
都営地下鉄大江戸線 両国駅から徒歩5分
●都営バス (錦糸町～大塚駅)石原1丁目停留所から徒歩3分



社会福祉法人 同愛記念病院財団

同愛記念病院

〒130-8587 東京都墨田区横網2丁目1番11号
TEL. 03-3625-6381(代) FAX. 03-5608-3211